

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

**清音**では、元日は福山登山から始まります。標高302.4mの福山は、ふるさとふれあい広場を起点に、幸山から福山へ歩く幸福の小径や直登コースの1234段の階段、浅原峠や山手の和霊神社から登るなどアプローチが多い山です。

元日にはこの山の頂上が、ご来光を拝む人でいっぱいになります。ここで登頂記念に皆さんに渡す手作りの絵馬があります。この絵馬は、総社市清音地域づくり会議ときよねスポーツくらぶが中心になって干支を題材に作成したものです。ボランティアの皆さんの手で800枚の絵馬を作るのですが、元日に皆さんの手に



手馴れたようすで絵馬を作成する

渡ることを楽しみに、毎年手際よくてきぱきと作ります。

元日は、朝6時にJA清音ライスセンターを出発。頂上では、きよねスポーツくらぶが作った温かい甘酒やお菓子の無料サービスを数量限定で行います。新年のスタートに澄み切った空気の中で初日の出を拝んでみてはいかがでしょうか。

(きよねスポーツくらぶ・藤田和江さん・清音古地)

**総社** 社北小学校の6年生は、10数年前から、ヒイゴ池湿地の自然を守る活動の一つとしてアルミ缶のリサイクル活動に取り組んでいます。

総合的な学習の時間に、ヒイゴ池湿地で、ハッチョウトンボやサギソウなどの観察をしたり、保全活動の話を聞いたりして、自然の偉大さや守ることの大切さを学びました。また、アルミ缶回収が環境を守ることにつながっていることにも



アルミ缶を回収をする6年生

気が付きました。

参観日には、ヒイゴ池湿地の自然や保全活動を紹介しながら、学校園で育てた野菜などを販売して募金に協力してもらいました。

アルミ缶のリサイクル活動や募金活動で集まったお金は、ヒイゴ池湿地の保全活動をしている団体に毎年寄付しています。今年アルミ缶リサイクル協会から、今までの取組を認められ表彰を受けました。これから

も私たちの住む町「総社」の自然を守る活動の伝統を下級生に引き継いでもらいたいと思います。自然いっぱいヒイゴ池湿地へぜひ一度お越しください。

(総社北小学校教諭・一澤弘和さん・上林)

# 友情を深める

姉妹都市 茅野市 柳平千代二市長と茅野市議会が来総

姉妹都市の長野県茅野市から柳平千代一市長と小平吉保議長ら茅野市議会議員など21人が、10月31日から11月1日の2日間、総社を訪れました。市内各所の視察や総社市議会との研修会を行ったほか、柳平市長が総社市の幹部職員に対し講話を行うなど交流を深めました。

## 茅野市長が講話

茅野市の柳平千代一市長が市幹部職員約50人に対し講話しました。茅野市の先駆的な政策である、教育委員会に「こども部」を作り、生まれたときから18歳までを一元化、幼保を一体化して、子育てと教育に取り組んでいることなどを紹介。また、地方分権時代を見据え、「市町村・自治体は腹をくくり、責任を自分で取る覚悟が必要」と説きました。そして、仕事に向き合う職員の意識として、「仕事の本質を見極めることが大切」と、締めくくりました。



講話する柳平千代一茅野市長



鬼ノ城の西門を視察する茅野市議会議員ら [写真右]。交流会で総社市議会と意見交換をした [写真左]



## 姉妹都市

## 長野県茅野市

茅野市は、諏訪盆地の中央に位置する面積265.88km<sup>2</sup>、人口約5万7000人の都市。日本三大遺跡の一つ尖石遺跡をはじめ、縄文文化が栄えたとみられる先住民族の遺跡が市内のいたるところに散在しています。また、7年に一度行われる日本三大奇祭の一つ御柱祭(左の写真)をはじめ、蓼科高原、白樺湖、八ヶ岳、車山高原など多くの観光資源をもち、夏は避暑地として全国から多くの観光客が訪れています。

昭和59年に姉妹都市縁組を結び、茅野市のリンゴやリンドウと総社市のマスカットや白桃といった特産品の交換など、さまざまな交流を行っています。



## 今月の表紙

環境学校で清音小学校の児童と福山を登るアルピニストで総社市環境観光大使の野口健さん。

## 編集後記

■今年も残りわずか。やりたい事、やらないといけない事が山積みになり、頭の中がごちゃごちゃだ。来年こそは計画的に出来るよう努力が必要だ。  
■地元産の野菜は安心して食べられる。おいしく食べて健康にも気をつけたい。  
■火遊びはしないと幼年消防クラブが新たに2つできた。これから寒くなるので火の取り扱いには十分気をつけなければと思った。  
■今年もあと1か月。あっという間にバタバタと毎日が過ぎて行った感じ。この調子でお正月を迎えることになるのかな。

## チェッピーのジクソーパズルが当たる

### 広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズにお答えください。

Q1 11月1日から新たにオープンした総社産の野菜を売る直売所は“そうじゃ地・食べ〇〇”

【応募方法】 はがきに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人にチェッピーのジクソーパズルを贈ります。

【応募期限】 平成24年1月4日(金)

【10月号の答え】 雑がみ

【10月号の当選者】 市田守さん(久代)、杉浦多加子さん(真壁)

■応募先 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所企画課

## 市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び  
明るい家庭をきざぎましましょう。
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましょう。

## 市の花・木・鳥

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ